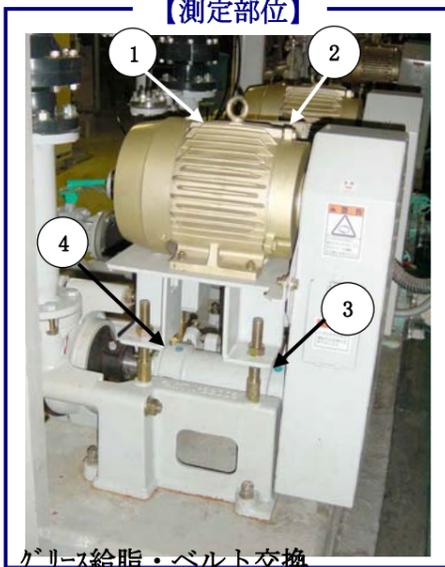


※潤滑不良のケース GRPグリースを使用していたら  
シール漏れのために補修！ ベアリング隙間が異常に大きい！

〇〇ポンプ-B

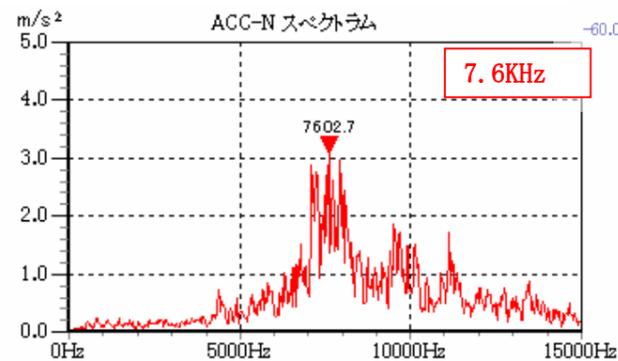
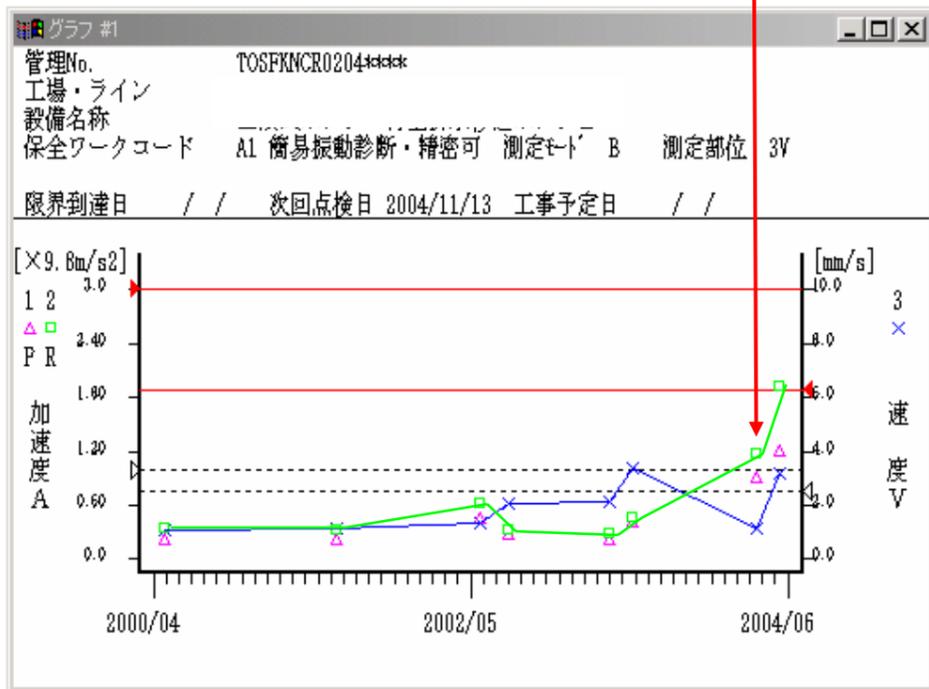
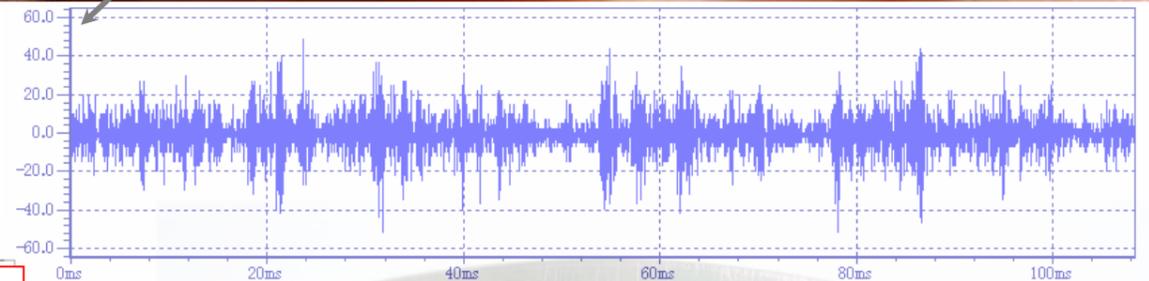
[装置仕様]

- ・モータ容量：5.5KW—4 P
- ・回転数：1478rpm/2609rpm
- ・負荷条件：連続負荷運転
- ・軸受 ①：6208ZZ ②：6308ZZ
- ③：KOYO30308JR ④：KOYO30308JR
- ・タイプ：ワマンポンプ 3-2SC EPR/L 4VORV
- ・ヘッド圧揚程：30m<sup>3</sup>/H 24m 製作：2001年07月
- ・インパ枚数：8 Z
- ・潤滑方式：グリース給脂
- ・製造：T社
- ・整備実績：2001年09月ベルト張り調整  
2002年07月 グリース給脂 2003年04月 グリース給脂・ベルト交換  
2004年05/11日 シール漏れにて分解整備 (スラスト隙間：20/100mm)



[測定値表 (今回値) 2004年03月]

測定部位	センサ方向	振動速度 (mm/s)	振動加速度 (m/s <sup>2</sup> )		
			Vel-Peak	Acc-Peak	Acc-Rms
①	V	1.2	0.6	1.0	0.58
②	V	2.6	0.7	1.2	0.6
③	V	1.1	9.0	11.5	0.78
④	V	1.7	8.5	10.0	0.78



コメント

アキシャル方向隙間が 0.2/100mm と広く調整されているのが大問題！  
オーバーホール後も 1.2 g—p 1.9 g—rms と高く測定された。  
この様な機種はGRPグリースに限る  
また、ベアリング隙間は可能な限り小さくが基本！！

